

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公表番号】特表2006-526947(P2006-526947A)

【公表日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-046

【出願番号】特願2006-514281(P2006-514281)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

G 06 F 3/038 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

G 06 F 3/038 3 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月23日(2007.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の装置が外部装置を制御するための方法であつて、

第1および第2のモードのうちの一方に前記第1の装置を設定するステップを含み、

データ・バスを介して、前記外部装置との接続がなされると、前記第1のモードが設定され、前記データ・バスを介して、前記外部装置との前記接続が終了されると前記第2のモードが設定され、

前記方法は、

ユーザ入力装置からの第1の制御プロトコルの第1のコマンド信号を受信するステップと、

前記第1のモードが設定されている場合に、前記第1のコマンド信号に応答して第2の制御プロトコルの第2のコマンド信号を生成し、前記データ・バスを介して前記第2のコマンド信号を前記外部装置に出力するステップと、

前記第2のモードが設定されている場合に、前記第2のコマンド信号を生成、出力することなく前記第1のコマンド信号に応じた機能を実行するステップと、
を含む、前記方法。

【請求項2】

入出力手段と処理手段とを備える装置であつて、

前記入出力手段は、データ・バスを介して前記装置と外部装置との間の信号転送を可能にし、

前記処理手段は、ユーザ入力装置からの第1の制御プロトコルの第1のコマンド信号を検出し、前記装置の第1および第2のモードの一方を検出し、

前記処理手段は、前記データ・バスを介して前記装置と前記外部装置との接続がなされると前記第1のモードを検出し、前記データ・バスを介して前記装置と前記外部装置との接続が終了されると前記第2のモードを検出し、

前記処理手段は、前記第1のモードが検出された場合に、前記第1のコマンド信号に応答して前記データ・バスを介して第2の制御プロトコルの第2のコマンド信号を前記入出力手段が前記外部装置に出力することを可能にし、

前記処理手段は、前記第2のモードが検出された場合に、前記第2のコマンド信号の前記外部装置への出力を可能とすることなく前記第1のコマンド信号に応じた前記装置の機能を実行可能にする、前記装置。